

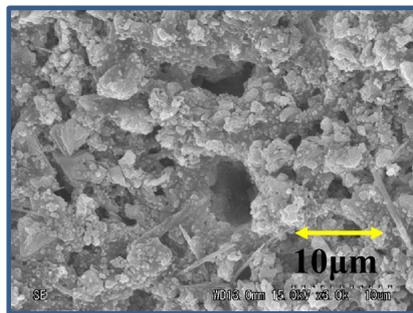
アレスシックイ琉球の結露抑制・調湿機能について

高湿度環境は建材の腐食やカビの発生要因となり、人の健康被害だけでなく、家や建物の傷みを誘引します。

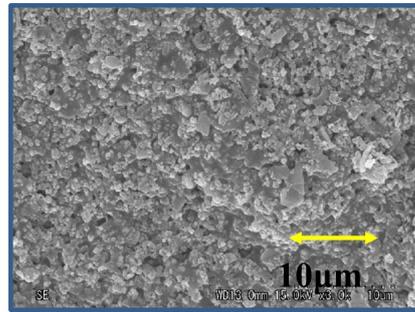
漆喰塗料の壁は、消石灰の多孔質構造によって室内の湿気を吸湿、また放湿する機能を有していることから、室内湿度のバランスを保ち、結露を抑制する機能があります。

古くから日本に伝わる伝統素材の漆喰は、大切な建物を湿気から護るいにしえからの天然素材です。

電子顕微鏡 (SEM) 写真 (倍率3000倍)



アレスシックイ琉球



エマルジョンペイント(EP)

● 結露抑制効果



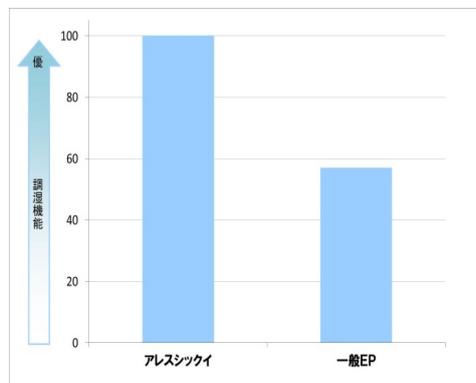
【試験方法】

ガラス瓶に試験体を入れ、上水滴下後、蓋をして23℃にて24時間静置。

10℃×30分静置後、ガラス瓶内側の結露性を評価。

漆喰塗料は、クロスやエマルジョンペイント(EP)に比べ、結露を抑制する機能が優れています。

● 調湿機能



【試験方法】

漆喰塗料と一般塗料(EP)の2種類を乾燥～吸湿条件にて保管した場合の吸湿量をアレスシックイ琉球の標準膜厚条件を100として指数化した。

漆喰塗料は、エマルジョンペイント(EP)に比べ調湿機能が優れています。

試験塗板作成条件、乾燥・吸湿条件、吸湿量測定条件